

令和5年度 学校評価(自己評価)

朝陽幼稚園

1. 教育基本方針

「強く 正しく 伸び伸びと」をモットーに、園児を中心に据え、保護者、教職員が関わりを深める。そして、この関わり合いの中で、園児の心の中に自信に溢れた成長意欲を導き出す。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 安全管理を徹底し、「命」の大切さを意識する(新型コロナ感染対策も含む)
- ② 基本的な生活習慣を身につけることにより、心身ともに健康な生活を送る
- ③ 一人ひとりの個性を大切に、人間性豊かな想像力を育てる
- ④ 正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる
- ⑤ 思いやりをもって、だれとでもなかよく遊べるやさしさを育てる
- ⑥ 社会に貢献する人格の形成をめざす

3. 評価項目の達成及び今後の課題

評価項目	目標	目標設定理由	評価	自己評価	次年度の改善
安全管理	I 新型コロナ(その他の感染症も含め)感染防止	新型コロナ感染症(その他の感染症も含め)防止対策の実行 ①手洗い ②3密対策 ③消毒作業	【B】	①各種感染症での学級閉鎖等もあり、園児の健康状態を日々観察し、家庭にも啓発できた。 ②換気をはじめ、日々消毒作業を引き続き、実施した。 ③園児の健康を注視しながら、お泊り保育等の年間行事を概ね実行できた	I 新型コロナ、インフルエンザ等の種々感染症に対応し、家庭とも連携を更に深める。また、園児の免疫力アップのため、食事・運動・睡眠指導を継続する
	II 「命」の大切さ	自分・家族・周りの人の「命」大切さを意識させ、「感謝」の心を育てる	【A】	様々な取り組み(交通安全教室・避難訓練など)や、日常の保育活動の中、危機管理を重視できた	II 常に危機意識をもち、「命を守る」取り組みや日常の保育活動や指導の中で、継続性をもって進める
課内教室の充実	園児の基礎体力向上	心と身体の健康を保つ	【B】	○課内教室「体育指導」を通して鉄棒、マット運動、跳び箱など十分に体を動かす機会が、少しながらも増えてきている。 ○運動会練習や学年ごとの体育活動、取り組み(な	・継続して実施する ・健康維持・体力増強のみならず、「練習」「努力」することの大切さを伝え、心身の成長を更に強化する

				わとび大会など)、附属幼稚園との合同競技会を開催し、園児たちも体を動かす楽しさ、努力することの大切さを感じてきた	
コミュニケーション能力の育成	英会話に慣れるためにネイティブ講師と学ぶ	英語に対する抵抗感を無くし、英語でのコミュニケーション能力を高める	【B】	○小学校へのスムーズなつながりを意識し、「楽しさ」を伝えることができた ○園のホームページに「English Teacher's Blog」を開設し、保護者及び入園希望者に活動内容を公開している	継続して実施する
教職員の資質向上	I コミュニケーション向上 II 音楽を活用した表見活動を深める	事務処理負担を軽減し、園児と触れ合う時間を多くする 音楽に様々に触れる中で、メソッドを磨き、感性・想像力を育てる	【B】	パソコンの台数が増え、教職員の機能性という面では成果があった。まだまだではあるが、園児と触れ合う時間は増加した 職員研修のみならず、実際に子ども達に実勢間していただくことで、教員のスキルアップにつながった。また、各行事での、「歌唱」「器楽合奏」につながることができ、子ども達の達成感を引き出した	I 日々の日誌、指導要領、成長記録等のIT化を更に進め、コンプライアンス意識を強く持ち、更に「働き方改革」につなげる II 昨年度「絵本読み聞かせ」、今年度「音楽」と続けてきたが、単年度の取り組みに終わらせず、継続して研修する
想像力・感性の醸成	生活や活動、経験を通じて、感受性(感じる力、見る力など)を高める	制作・音楽・読み聞かせを通して、想像力を育てる	【B】	季節感を大切に、制作・音楽・読み聞かせ等の活動ができた。また、季節行事では、隣接する朝陽館で雛人形、五月人形を鑑賞したり、節分では豆まきをしたり、伝統を伝え、情操教育を行うことができた	○生活発表会、演奏会など表現活動の内容を深化させ、更に感性を養う教育に意識をもつ ○日々の活動の中で、「見る力」「気づく力」の育成を意識する

保護者と 協同	保護者ニ ズへの対 応・卒園生 への支援・ 広報活動の 充実	保護者に園の教 育活動につい ての理解を深める	【B】	「園だより」、各種通信、お 便り等を通じて、園の活動 を伝え、保護者にも協力を 依頼することで、日々の活 動・園行事等に、理解・協 力を得られた	真摯に、園の様子・大切 にしていること、困ってい ること等を情報発信するこ とで、更に、園への理解・ 支援を強化したい
------------	---	-------------------------------	-----	---	---

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

4. 総合的な評価結果

評価	自己評価	次年度の改善
B	新型コロナウイルス感染症5類移行を念頭に、幼稚園活動を精査した。ただ、園児に様々な経験を積ませることは大切にしながら、人数制限等を設けながら(各種感染症への対応)、日常の活動・行事が実施できた。保護者の協力と地域の理解によるものが大きい。 また、園ホームページなどを通じ、保護者及び入園希望者にきめ細かな情報を伝えることができた。そのため、協力・支援を受けることができ、子どもたちの成長の推進力になった。	子ども達の安全・安心を第一に、継続して園児たちに様々な経験の場を提供し、園児たちの成長を、保護者とともに見守りたい。 また、園児の免疫力・体力・心力アップのため、食事・運動の指導を行いながら、「命」の大切さに気づかせる保育活動を続ける。

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

5. 学校関係者評価

新型コロナのみならず、常に、各種感染症にアンテナを巡らせ、子ども達の健康を第一に保育活動を含め、行事など計画通りに実施していただいたことはありがたかった。また、園の情報発信も適切で、保護者としても、「子ども達の成長」のため、支援ができた。

例年通り、朝陽幼稚園の特色である豊かな自然環境の中で昆虫・小動植物と触れ合うこと、また、伝統的建築物である朝陽館をお借りして行う季節行事においても、情操教育を進めていただけた。子供たちが集団生活の中での「自分を大切にすること」「まわりを気遣う意識」を身に付けることが出来たと思う。

「子ども達を真ん中に据え」、先生方と保護者が協働できる信頼関係を大切にして、保護者との信頼関係を今後も、大切にしてほしいと思う。今後も、園児たちに寄り添い、保護者とともに、「教え育てる」姿勢で、保育活動を進めてもらいたい。

【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長:朝陽幼稚園保護者会会長

評価委員 :保護者会役員 3名

以上